SOMPO福祉財団 NEWs

Sompo Welfare Foundation

●2023年度の主な助成金の募集（公募）
●2022年度　自動車購入費助成、NPO基盤強化資金助成　贈呈式を開催
●助成団体からの報告
●2022年度　海外助成　贈呈式を開催
●第24回ＳＯＭＰＯ福祉財団賞の贈呈式を開催
●財団からのお知らせ

発行者　公益財団法人SOMPO福祉財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1　損保ジャパン本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
https://www.sompo-wf.org/　Eメール：office@sompo-wf.org

2023年度 vol. 1

2023.06発行

2023年度の主な助成金の募集（公募）

2023年度の社会福祉事業における助成金の公募を以下のとおり予定しています。
※詳細は財団ホームページをご覧ください。

事業名（募集時期／予算）	事業の内容 ※助成金額	対象となる団体
自動車購入費助成 （６月１日～７月７日／総額1,500万円） 募集中	・主として障害者の福祉活動を行う団体が、自動車を購入する際の資金を助成 ※１件150万円（上限）	・特定非営利活動法人 ・主として障害者の福祉活動を行う団体（ただし、加齢に伴う障害者（高齢者）の福祉活動団体は除く。） ・**東日本地区**に所在する団体
NPO基盤強化資金助成 （９月～10月予定／総額1,300万円）	・組織および事業活動の強化に必要な資金を助成 ※１団体70万円（上限）、15団体程度	・社会福祉に関する活動を行う特定非営利活動法人、社会福祉法人 ・西日本地区に所在する団体
	・認定NPO法人を取得するための資金を助成 ※１団体30万円、10団体	・認定NPO法人の取得を目指す社会福祉分野の特定非営利活動法人 ・日本国内に所在する団体
（６月１日～７月14日／総額450万円） 募集中	・住民参加型の福祉活動資金を助成 ※１団体30万円（上限）、15団体程度	・地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に包括的な支援活動を行なう、５人以上で活動する営利を目的としない**法人格のない団体** ・**西日本地区**に所在する団体
海外助成 （９月～10月予定／総額400万円）	・ASEAN加盟国、インドおよび南アフリカの非営利団体が地域の社会福祉に資する活動を行うための資金を助成 ※１件100万円（上限）	・社会福祉分野で活動をする非営利団体 ・ASEAN加盟国、インドおよび南アフリカに本部を置く団体 ※現地駐在員の推薦が必要です。

2022年度　自動車購入費助成、NPO基盤強化資金助成　贈呈式を開催

損害保険ジャパン㈱の支店のご協力で、助成金の贈呈式を開催しました。

自動車購入費助成

高知支店





重症児たちの居場所づくりと家族の支援

＜特定非営利活動法人　みらい予想図＞

兵庫支店





主に精神障害者の活動の場を提供

＜特定非営利活動法人　つつじ会＞

大阪北支店



放課後等デイサービス、不登校児の個別支援など

＜特定非営利活動法人　ほっと。＞

住民参加型福祉活動資金助成

秋田支店



多世代の地域住民を巻き込んだ集いの場づくり

＜Cafe Chotto ちゃっこ＞



草刈り・雪降し等の共助活動（備品整備）

＜ふくち共助組合＞

福島支店



地域住民とのコミュニティ形成・交流会開催

＜中央台地区有志の会＞

助成団体からの報告

住参 …「住民参加型福祉活動資金助成」
強化 …「組織および事業活動の強化資金助成」

住参



若者が教える高齢者スマホ教室

＜つるがや元気会＞

住参



美容師のお仕事体験

＜新潟障害文化推進機構＞

強化



みんなで楽しく造形活動

＜あかね会＞

強化



パパと一緒にお遊び

＜育ちあいサポートブーケ＞

2022年度　海外助成　贈呈式を開催

助成先のインドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム４ヵ国で、助成金の贈呈式が開催されました。
助成先団体の皆様、障害者団体など多くのご参列を得て開催され、現地の新聞などのメディアに掲載されました。

インドネシア
Perkumpulan Organisasi Harapan Nusantara (OHANA)





SOMPOからはSIIのジョグジャカルタ支店長がフィジカルでセレモニーに参加し、団体および関係各所から参加された方々からあたたかい御礼のメッセージを多数いただきました。当地におけるSOMPOグループのプレゼンス向上にもつながったのではないかと思います。

［井上　直樹さん (PT Sompo Insurance Indonesia)］

マレーシア
Seven Tea One Sdn Bhd





当該助成金は、障害のあるティーンエイジャーを訓練し雇用機会を創出することを目指して、ハラール認証のハーブティ生産ラインを設立することに使われます。このような社会的に有意義な活動に貢献できたことをうれしく思います。

また、日系メディア２社を含む８社が贈呈式に参加し、当社のCSR活動に大変大きなPR効果がありました。

［渡邉　賢さん (Berjaya Sompo Insurance Berhad)］

フィリピン
Resources for the Blind, Inc.

Resources for the Blind, Inc. (RBI)の皆さんが視覚障害者への教育機会の提供だけにとどまらず、保護者・学校・地域と連携しながら、キャリア形成を含めた包括的な支援まで手厚くカバーしていることを知ることができました。また今回の助成金の使途となる点字図書の制作の現場も見学させてもらいましたが、挿絵もふんだんに使用される子供向け図書の点字書籍化にあたっての苦労されている点や創意工夫などをお聞きし、一冊一冊に時間をかけ丁寧に書籍を作成されていると実感しました。

点字書籍が子供たちの手に渡り、そこから想像力を膨らませ、学びを進めていく子供たちの未来につながっていくことを願ってやみません。

［山本　太一さん (PGA Sompo Insurance Corporation)］





ベトナム
Hope School



幼少時代にCovid19で親を失うという精神的に大変つらい思いをした子供たちですが、実際に訪問して彼らの想像以上のエネルギーまた朗らかさに感銘を受けました。学校関係者との会話を通して、ソフト面の教育や経験を如何に子供たちに与えられるかがより大きな課題であることを認識しました。そのような中、当該助成金プログラムを通して、これらの子供が今後立派な大人に成長していく上で、何物にも代えがたい経験を提供することができたと、当日の鑑賞会時の子供たちの表情を見て確信しました。



［杉山　大朗さん (United Insurance Company of Vietnam)］

第24回ＳＯＭＰＯ福祉財団賞の贈呈式を開催

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第24回ＳＯＭＰＯ福祉財団賞」の贈呈式を2023年３月16日に損保ジャパン本社ビルで開催しました。

受賞者の永田祐氏（同志社大学社会学部教授）が受賞著書の『包括的な支援体制のガバナンス－実践と政策をつなぐ市町村福祉行政の展開』についてご自身の研究の過程に触れながらご挨拶されました。受賞者および著書要旨を財団ホームページに公開していますので、是非ご覧ください。

また、林健太郎氏の『所得保障法制成立史論－イギリスにおける「生活保障システム」の形成と法の役割』に奨励賞を贈呈しました。



財団賞受賞の永田祐さん（左）と西澤理事長



奨励賞受賞の林さん（左）と永田さん



受賞者他関係者の皆さま

≪受賞記念講演会とシンポジウムのご案内≫

日時：2023年７月22日(土) 午後１時～５時
場所：グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
内容：受賞記念講演会　　：永田　　祐 氏〔同志社大学社会学部教授〕
　　シンポジウムテーマ：生活困難者への支援と包括性－研究と実務の視点から
　　パネリスト　　：菊池　馨実 氏〔早稲田大学理事・法学学術院教授〕
　　駒村　康平 氏〔慶應義塾大学経済学部教授〕
　　朝比奈ミカ 氏〔市川市生活サポートセンターそら 主任相談支援員〕
　　コメンテーター　：永田　　祐 氏〔同志社大学社会学部教授〕
　　コーディネーター　：秋元　美世 氏〔東洋大学大学院特任教授〕
　　平岡　公一 氏〔東京通信大学教授〕
　　お申込み　　：当財団ホームページ　https://www.sompo-wf.org/

参加者募集中
参加費無料
先着100名様

☆☆財団からのお知らせ☆☆

NPO支援財団研究会2023春ｗｅｂシンポジウムに参加しました。
NPO支援財団研究会は、(公財）助成財団センターが中心となり、NPOと助成財団のより良いパートナーシップ構築に向けて、全国でシンポジウムを開催しています。
多くの財団の助成プログラムを紹介するとともに、その狙いや期待するポイントを説明していますので、助成への応募を検討しているNPOの皆さまにご紹介ください。
今後の開催については、(公財）助成財団センターのホームページをご参照ください。
公益財団法人助成財団センター　https://www.jfc.or.jp